

吸音についてはドイツの試験機関で効果を測定しています。

残響室での吸音測定値により、用途や設定により、アコースティックストライプは吸音材クラスAに属し、室内および窓際でその効果を発揮します。

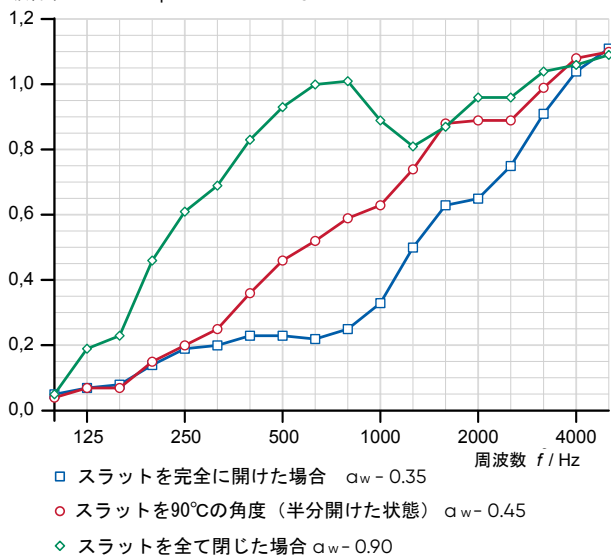
下記グラフは試験室（残響室）で壁の前にAcoustic Stripesを取り付けて測定した場合。

この測定値は、壁面や窓面でAcoustic Stripesを使用した場合の目安となります。

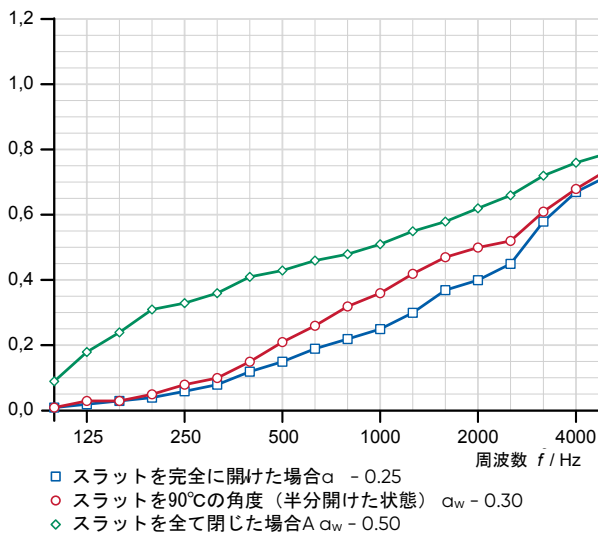
下記グラフは試験室（残響室）でフリーな状態でぶら下げて測定した場合。

この測定値は、Acoustic Stripesを天井や壁と全く接続しないフリーな吊り下げ方法をした場合の目安となります。音は側面や天井に自由広がるため、窓面に設置した場合に比べ音の吸収能力は低下し吸音率が低くなります。

吸音率 Sound absorption coefficient α_s



吸音率 Sound absorption coefficient α_s

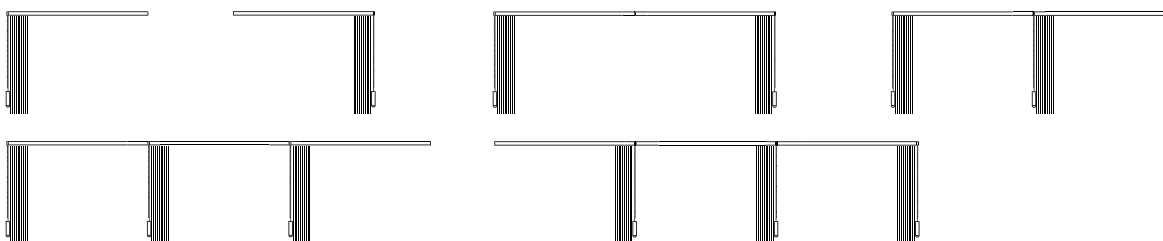


Acoustic Stripes（アコースティックストライプス）を天井と壁の間のルームゾーニングに応用

DIN ISO 354 / ISO 11654に準拠した残響室での測定試験では、アコースティックストライプを天井と壁が連結した間仕切り（空間の天井に設置など）として測定することはできませんが、音響効果は、残響室壁の前面での測定結果と同等であると仮定しています。ただしこの評価は保証するものではありませんので、個々の状況に応じて音響の専門家にご相談されることをお勧めします。

寸法と用途

製品の高さと幅は、最大サイズW300 x H300cmでお客様のニーズに合わせてカスタマイズできます。またスラットを寄せる方向や操作位置は様々な方法でアレンジできます。開口がさらに大きい場合は複数のシステムを連結します。お気軽にご相談ください。



スラットの厚み 約 7 mm
スラット巾 約 127 mm
製作最大H高さ 300 cm

